様式第１号

研究倫理審査申請書

名古屋芸術大学長　殿

|  |
| --- |
| 申請者： |
| 提出日：　　　　　年　　　月　　　日 |

名古屋芸術大学研究倫理審査規程に基づき、次のとおり審査を申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究者（研究代表者） | （教員、大学院生、学部生） |
| ２．共同研究者 |  |
| ３．研究課題 |  |
| ４．研究目的 |  |
| ５．研究計画及び方法 |  |
| ６．倫理面に関し、計画において考慮する内容及び方法等 |  |
| ７．その他 |  |

（備考）

１．申請書は、随時提出できるものとし、提出先は教育研究支援チームとする。

２．申請書は１ページを超えても可とする。申請書には別紙及び資料を添付することができる。

【様式第１号　記入例】

研究倫理審査申請書

名古屋芸術大学長　殿

|  |
| --- |
| 申請者： |
| 提出日：　　　　　年　　　月　　　日 |

名古屋芸術大学研究倫理審査規程に基づき、次のとおり審査を申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究者（研究代表者） | （教員、大学院生、学部生） |
| ２．共同研究者 | 【記入例】氏名：〇〇〇〇　所属：〇〇〇大学（教員）氏名：〇〇〇〇　所属：〇〇〇大学大学院（大学院生） |
| ３．研究課題 |  |
| ４．研究目的 | 研究の背景と目的を記述する。 |
| ５．研究計画及び方法 | 対象施設および対象者の選定方法、対象者数の見込み数、調査・実験等の依頼の手順、調査・実験等の内容、データ分析の方法、調査・実験等の期間、研究期間を含む。 |
| ６．倫理面に関し、計画において考慮する内容及び方法等 | 情報の取り扱いに対する配慮、研究協力の任意性と撤回の自由、研究参加者への利益と不利益、研究協力者に生じる負担への配慮、利益相反の状態、などについて記述する。 |
| ７．その他 | 予算、研究助成金の有無、助成機関、研究協力者への謝礼等について記述する。 |

（備考）

１．申請書は、随時提出できるものとし、提出先は教育研究支援チームとする。

２．申請書は１ページを超えても可とする。申請書には別紙及び資料を添付することができる。

様式第２号

研究倫理のためのチェックリスト

|  |
| --- |
| 申請者： |
| 提出日：　　　　　　年　　　月　　　日 |

名古屋芸術大学長　殿

研究遂行に当たっての倫理上の配慮及び研究倫理審査会に提出するための申請書を記載する際に、このチェックリストの各項目を確認の上、該当項目に「レ」を記入、該当しない項目は「×」を記入し、申請書類に添付し提出てください。

|  |
| --- |
| 研究課題： |
| **１．研究実施について** |
| □ | (1)　研究協力者のデータは、研究者以外の人に個人情報が特定できないように、氏名などをコード 化しているか。また、インタビューやアンケート内容についても配慮がなされているか。 |
| □ | (2)　質問に対しての回答や、研究の一部の参加を拒否できる配慮がなされているか。 |
| □ | (3)　研究協力が強要になっていないか。また、記入を依頼したアンケートの回収方法は具体的に明 記され、強制力が働かないように配慮されているか。 |
| □ | (4)　研究協力者及び家族の心情への配慮がなされているか。 |
| □ | (5)　依頼事項は研究目的の遂行上、必要不可欠と認められるものに限っているか。 |
| □ | (6)　研究協力者の選考は適切か。 |
| □ | (7)　本研究の目的は、この方法でなければ達成できないか。 |
| □ | (8)　データのセキュリティ管理について、適切な取り扱いが明示されているか。 |
| **２．申請について** |
| □ | (1)　提出書類には審査申請書のほか、必要に応じて依頼書、同意書などが添付されているか。既存の尺度等で既に学術論文等で公表されている尺度をそのまま使用する場合は引用元が記載されているか。あるいは著作権等が必要な場合や、尺度の翻訳、一部改変する、などを行う場合は、許諾書が添付されているか。 |
| □ | (2)　研究協力者の選定方法及びその人数について具体的に記載されているか。 |
| □ | (3)　研究のスケジュールは、研究倫理審査に要する日程を考慮して定めているか。 |
| □ | (4)　研究協力者への説明や掲示物、インタビューの場合にはインタビューガイド、アンケートの場合には質問紙、介入研究の場合は具体的な介入プログラムなどが添付されているか。 |
| □ | (5)　初出の略語については、省略せず注釈を付けているか。 |
| □ | (6)　初出の英語略語はフルスペルで表記しているか。　　　例:I･C（informed consent） |
| □ | (7)　特殊な手技や、ある程度の専門用語には説明を付けているか。 例：QOL（quality of life：生活の質） |
| □ | (8)　研究内容に関係する企業・組織又は団体との利益相反状態について、具体的に記載されているか。 |

|  |
| --- |
| **３．研究協力への依頼について** |
| □ | (1)　依頼書には、次のことが説明されているか。・研究課題名、概要が記載されているか。 　・研究の目的、内容及び具体的な手順に関して適切に説明されているか。 　・特に専門用語にはわかりやすい説明を加えているか。 |
| □ | (2)　研究協力に伴い予想される苦痛、不快、不自由、不利益、リスク等とその対処方法が具体的に説明されているか。・研究協力による負担の程度を予想できるように、研究方法や質問の内容、場所、回数などが具体的に記載されているか。 |
| □ | (3)　研究協力者は自由に撤回や辞退ができ、その場合でも、後に不利益を被ることは全くないことが説明されているか。 |
| □ | (4)　研究協力者あるいは社会が得る利益などについて説明されているか。 |
| □ | (5)　匿名で回答を得る等、書面での同意を求めない場合には、「回答をもって同意とみなす」旨が記載されているか。 |
| □ | (6)　研究協力者から問い合わせ、開示要求への対応が記載されているか。 |
| □ | (7)　研究結果の公表方法と、個人のプライパシー保護の方法について説明されているか。 |
| □ | (8)　研究協力者本人からのインフォームド・コンセントを受けることが困難であり、代諾者からの同意による場合でも、研究責任者は、研究協力者本人に可能な限り分かりやすい言葉・手段で十分な説明を行い、理解が得られるような方法について明記しているか。 |
| □ | (9)　文書資料及び音声・映像の電子化された資料の保存管理方針と保存期間が明記されているか。また、保存期間終了後のこれらの資料の破棄の期日と方法が明記されているか。 |
| □ | (10) 集団への口頭説明や掲示、幼児期の子どもへの口頭説明など文書によらない場合も、説明内容や同意を得る方法、拒否できることについて明記しているか。 |
| □ | (11) 研究協力者へ謝礼をする場合、その方法と妥当な金品を考慮し、依頼書に記載されているか。 |
| □ | (12) 研究責任者が誰であるかを明確にし、依頼文には研究者全員の氏名や所属を記しているか。 |
| □ | (13) 研究協力者の所属機関の長の許可を得るための依頼書及び手続きが明記されているか。 |
| □ | (14) 研究代表者が誰であるかを明確にし、依頼文には研究者全員の氏名や所属、連絡先を記載しているか。 |
| □ | (15) 施設（長）を通して研究の依頼を研究協力者にする場合、施設側から研究協力者に強制が加わらない方法になっているか。 |
| □ | (16) 研究協力者の紹介を施設から受けるに際して、研究者に紹介することの了解を研究協力者から事前に得るように依頼しているか。 |
| □ | (17) 研究協力依頼書や同意書等への、本学の研究倫理審査会の名称記載については、「名古屋芸術大学研究倫理審査会」と記しているか。 |
| □ | (18) 説明書や同意書の書面等が添付されているか。 |
| **４．研究協力者の同意について** |
| □ | (1)　研究協力者の「同意書」が準備されているか。 |
| □ | (2)　同意書の前文には、研究者から十分な説明の上で同意した旨の文言が記されているか。 |
| □ | (3)　同意書には、研究課題名を明示して説明しているか。 |
| □ | (4)　同意内容が同意書に記されているか。 |
| □ | (5)　同意書には、日付欄及び研究協力者と説明者の署名欄に記載されているか。 |
| □ | (6)　同意書には、研究者の氏名や所属、連絡先が記載されているか。　 |
| □ | (7)　同意書は同じものを２通用意し、１通は研究者、もう１通は研究協力者が、研究終了まで保存できるようになっているか。 |
| □ | (8)　可能な限り研究協力者から同意を得るが、研究承諾の判断が不十分な場合は、代諾者（法定代理人もしくは代理権を有する親族及びこれに準ずる縁故者）からも同意を得ているか。 |

様式第３号

通　知　書　番　号

年　　月　　日

研究倫理審査結果通知書

申請者　　　　　　　　　　様

名古屋芸術大学長

名古屋芸術大学研究倫理審査規程に基づき、次のとおり審査結果を通知します。

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究者（研究代表者） | （教員、大学院生、学部生） |
| ２．共同研究者 |  |
| ３．研究課題 |  |
| ４．審査結果 | １．承認　　　２．条件付承認　　　３．再申請　　　４．不承認 |
| ５．審査の要旨及び結果 |  |

様式第４号

研究倫理審査申請書（継続用）

名古屋芸術大学長　殿

|  |
| --- |
| 申請者： |
| 提出日：　　　　　年　　　月　　　日 |

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究者（研究代表者） | （教員、大学院生、学部生） |
| ２．共同研究者 |  |
| ３．研究課題 |  |
| ４．研究目的 |  |
| ５．研究予定期間 | 　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで |
| ６．倫理審査　・前回承認日　・通知書番号 | 承　認　日：平成　　年　　月　　日通知書番号：　　　　　　　　　　　 |
| ７．研究の概要 |  |
| ８．変更内容 |  |

（備考）

１．申請書は、必要に応じ随時提出するものとし、提出先は教育研究支援チームとする。

２．申請書は１ページを超えても可とする。申請書には別紙及び資料を添付することができる。

様式第５号

研究終了・研究中止報告書

名古屋芸術大学長　殿

|  |
| --- |
| 申請者： |
| 提出日：　　　　　年　　　月　　　日 |

私は、以下の研究課題に関する全てのデータ収集を（　終了　・　中止　） したことを報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| １．研究者（研究代表者） | （教員、大学院生、学部生） |
| ２．研究課題 |  |
| ３．調査期間 | 　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで |
| ４．倫理審査　・前回承認日　・通知書番号 | 承　認　日：平成　　年　　月　　日通知書番号：　　　　　　　　　　　 |
| ５．個人情報の保有 | 研究を通して得た個人情報の保有の有無□　個人情報はすべて破棄□　個人情報は引き続き保有(保管期間　　　　　年　　月まで)（□内いずれかにチェックする） |
| ６．その他（研究を中止する場合の理由など） |  |

（備考）

１．報告書は、必要に応じ随時提出するものとし、提出先は教育研究支援チームとする。

２．報告書は１ページを超えても可とする。報告書には別紙及び資料を添付することができる。